

一人一人の意識を高める環境活動！！身のまわりの環境から大切にしよう！！ 広西エコモーション2019

「広西エコモーション2019」成功に向けて

広安西小学校の環境教育の考え方

昨年度の広安西小学校の環境教育の考え方

気づくハート

日ごろから環境と関わりながら生活していることに気づくハート

知るハート

さらに環境のことを知るハート

見つめるハート

自分たちを取り巻く自然や地域を見つめるハート

3つのハートについて「確実」な「定着」を図ってきた

今年度の広安西小学校の環境教育の考え方

気づくハート

定着 → 深める

知るハート

定着 → 深める

見つめるハート

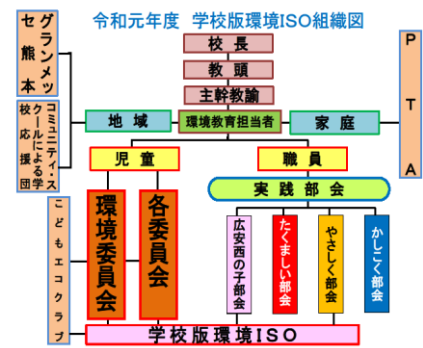
定着 → 深める

3つのハートについて「定着」してきたことを「深める」取組を行う

本校の環境教育の基本理念である3つのハート「気づく」「知る」「見つめる」において、昨年度は「確実」な「定着」を考えて取り組んできた。今年度は、「定着」してきたことを「深める」取組を行っていくと考え、一人一人の環境意識が大きな環境活動に繋がるようにした。

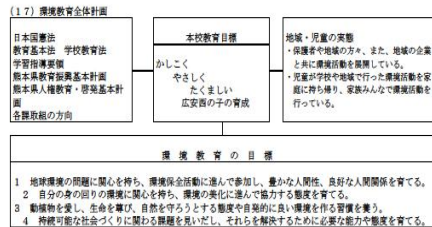


広安西小学校 学校版環境ISOにおける組織と計画



○組織図では、環境委員会と各委員会とのコラボレーションを行えるように考えたほか、コミュニティ・スクールによる学校応援団の方と共に環境活動の充実を図れるように作成している。

○環境教育全体計画では、一人一人の身のまわりの環境を重視した学校版環境ISOのPDCAサイクルになるように作成している。

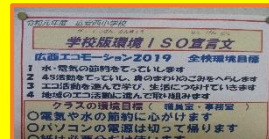


各教科	道徳	特別活動	総合的な学習の時間	外国語活動
○教科書を通して、環境問題について理解を深め、自然と関心をもち、身近な環境を大切にする。自然と関心をもち、身近な環境を大切にする。	○自然の恵みと責任を学ぶ。自然の恵みと責任を学ぶ。	○自然の恵みと責任を学ぶ。自然の恵みと責任を学ぶ。	○自然の恵みと責任を学ぶ。自然の恵みと責任を学ぶ。	○自然の恵みと責任を学ぶ。自然の恵みと責任を学ぶ。
○環境学習を通して、自然の恵みと責任を学ぶ。自然の恵みと責任を学ぶ。	○環境学習を通して、自然の恵みと責任を学ぶ。自然の恵みと責任を学ぶ。	○環境学習を通して、自然の恵みと責任を学ぶ。自然の恵みと責任を学ぶ。	○環境学習を通して、自然の恵みと責任を学ぶ。自然の恵みと責任を学ぶ。	○環境学習を通して、自然の恵みと責任を学ぶ。自然の恵みと責任を学ぶ。
○環境学習を通して、自然の恵みと責任を学ぶ。自然の恵みと責任を学ぶ。	○環境学習を通して、自然の恵みと責任を学ぶ。自然の恵みと責任を学ぶ。	○環境学習を通して、自然の恵みと責任を学ぶ。自然の恵みと責任を学ぶ。	○環境学習を通して、自然の恵みと責任を学ぶ。自然の恵みと責任を学ぶ。	○環境学習を通して、自然の恵みと責任を学ぶ。自然の恵みと責任を学ぶ。

令和元年度 広安西小学校 学校版環境ISO宣言目標

【全校行動目標】
 ○水・電気の節約を徹底します
 ○4Sを徹底し、身のまわりのごみを減らします
 ○エコ活動を進んで学び、日ごろの生活につなげていきます
 ○地域のエコ活動に進んで取り組みます

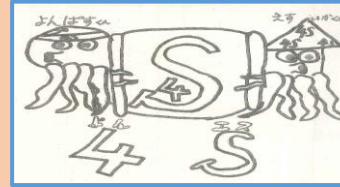
【職員行動目標】
 ○電気や水の節約に心がけます
 ○パソコンの電源は切って帰ります
 ○紙は必要分だけ使います



【数値目標】
 ○水道代・電気代を前年の同じ月と比べて1万円少なくします
 ○ごみの量を毎週35kg以下にしています

無理のない数値目標を設定します！

【具体的な手立て】
 ○運動場のトイレなど、確認しづらいところの電気もきちんと消す
 ○水道の蛇口を確実にしめるように意識する
 ○持ち物に名前を書く



(広西4Sキャラクター)

全校行動目標では、昨年度から4S（整理、整頓、清潔、清掃）を取り入れている。今年度は、全校で4Sを徹底し、日ごろから一人一人の身のまわりの環境を整えることにしている。また、全校環境目標はこれまで培ってきた3つのハートを深める取組を行うようにした。

2

行

動

気づくハートを育てる活動～広西エコモーション2019～

深めるための視点 全校行動目標の「水・電気の節約」、「4S」の項目を気づくハートを育てることと関連させ、身のまわりの環境から見つめ、活動が深められるような取組を行った。

職員の取組

今年度の職員の取組として、水や電気の節約や紙の無駄をしないことを心がけている。また、エコモーション一句として俳句や川柳を書き、意識を高めている。



家庭と連携した取組

環境通信「エコモーション」によるエコアイデアの募集や学校区の有価物回収で連携を図っている。

環境通信「エコモーション」学校の環境活動紹介やエコアイデアの募集などで連携を図っている。

有価物回収

学校区内の各地区から有価物を集め、分別したり収集車へ運んだりしている。



SDGsと各委員会コラボレーションの取組

学校生活を支える16の委員会の活動は、環境活動と関わりがあることから、環境委員会と同じような活動を行っている委員会とのコラボレーションを行った。また環境委員会では、16の委員会活動はSDGsのどの目標と関連するのか考え、17の目標をより身近に考えられる工夫をした。

運営委員会→環境委員会以上に4Sの心がみとして行動、呼びかけを行います	給食委員会→給食をきれいに食べて水の節約をします
音楽委員会→楽器を大切にします	保健委員会→コップ一杯の水ではみがきをします
図書委員会→エアコンが入っている時は図書室の扉を閉めます	ベルマーク委員会→捨てればごみ、集めれば笑顔！！
放送委員会→環境目標を放送原稿に入れ、みんなに環境の大切さを呼びかけます	整備・美化委員会→無言掃除を徹底し、すみずみまできれいな学校にする
生活委員会→自分の身のまわりを整理整頓します	栽培・飼育委員会→水やりの時に水をだしばなしにしません
防災ボランティア委員会→落ち葉掃きをして環境をきれいに保ち、みんなが気持ちよく過ごせるようにします	集会委員会→集会に行く時に、クラスのエアコンや電気を消すように呼びかけて節約します
人権委員会→ごみを減らすために、気づいたら落ちているごみを拾います	掲示委員会→掲示物をはるときは、できるだけリサイクル用紙を使います
体育委員会→一輪車やボールの後片づけをきちんとしていきます	環境委員会→全委員会と協力し、環境に優しい学校や家庭、地域づくりを目指します

ベルマーク委員会・環境委員会とのコラボレーション SDGs目標12 つくる責任つかう責任

各学期に一度、ベルマーク委員会と協力し、ペットボトルキャップとテトラパックの回収を行った。たくさん回収することができた。



(各委員会とSDGsの関連)

保健委員会・環境委員会とのコラボレーション SDGs目標3 すべのひとに健康と福祉を

ノーマディアデーに合わせ、全校で夜10時までに電気を消して寝るようになる「早寝早起きライトダウン」作戦を行っている。

早寝早起きライトダウン大作戦

昨日の夜、10時までに電気を消して寝た人の数

年 月 組

27人 (33人中)

ご協力ありがとうございました。 環境委員会・保健委員会

図書委員会・環境委員会とのコラボレーション SDGs目標4 質の高い教育をみんなに

図書委員会と協力し、全校に呼びかけて「紙の切れ端で本のしおり作り」を行った。楽しいリサイクル活動になった。



広西4S大作戦2019の取組

一人一人の生活環境を見つめ直すことができる4S（整理、整頓、清潔、清掃）は、本校の基本となる環境活動である。毎月4S項目別目標チェックを行い、4Sについての意識を高めている。

整理	整頓	清潔	清掃
自分の物に名前を書き、物の整理をしているか。	自分の机やたななど、物の置き場所を片づけているか。	自分の身のまわりにごみがないように心がけているか。	きれいになることを考え、無言掃除をしているか。

(4Sの項目別目標)

(4Sポスター)

(4Sチェック表)

4S紙芝居

環境委員会児童は、休みに4Sについての紙芝居を行った。低学年を中心に多くの児童が見に来てくれた。



電気・水節約の取組

全校一人一人が確実に行動できるよう、環境委員が呼びかけやチェックをしている。

電気の節約

学校全体でトイレの電気の消し忘れが多い。必要のない電気は消すよう、呼びかけている。

水の節約

蛇口をきちんと閉めること、掃除の時はバケツを使用し、水の出しっぱなしがないよう呼びかけている。

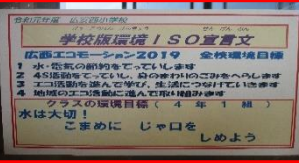
ごみ計量の取組

環境委員会児童が登校後に学校のごみを量って数値化し、どうすればごみが少なくなっていくか考える機会にした。



クラスのISO宣言文

各クラスで実態に応じた環境目標を決め、取り組んでいる。今年度は、水や電気についての目標や4Sについての目標を掲げて取り組むクラスが多かった。



環境体験活動

今年度の環境体験活動として、「牛乳パックでペン立て作り」を行った。給食時に出る牛乳パックを使い、紙の切れ端で模様を作った。楽しいリサイクル活動になった。



知るハートを育てる活動～広西版水俣に地域に学ぶ肥後っ子教室～

深めるための視点

全校行動目標の「エコ活動を進んで学び、生活に生かす」項目を知るハートを育てることと関連させ、地域や水俣のことを深く学ぶ取組を行った。

職員の学び

環境教育校内研修を行い、地域のことや自分の生活を見つめる機会となった。



地域を知る

4年生では、校区の湧き水調べを行い、湧き水はどこからくるか、校区のどこに出ているかを調べた。



地域で学ぶ

4年生は、実際に校区の湧き水がある場所に行き、水質や水温を調べたり詳しい方に聞いたりした。



水俣を知る

5年生は、地球上で起きている環境問題から身近な環境問題まで調べた。その中で、日ごろから環境問題と生活を重ねて考えている水俣の人々のくらしはどうなのかを考えた。



水俣で学ぶ

5年生は実際に水俣に行って水俣の人々のくらしについて話を聞いたり学んだりすることができた。



学習発表会で伝える

全学年が学んできたことを発表した。4年生や5年生も地域のこと、水俣のことを発表することができた。





見つめるハートを育てる活動～広西湧き水再生プロジェクト～

深めるための視点

全校行動目標の「地域のエコ活動」の項目を見つめるハートを育てることやESD（持続可能な開発のための教育）と関連させて取り組み、環境委員会の児童が地域の湧き水について深く学び、熊本大地の素晴らしさを考える活動を行った。

湧き水を見つめる取組

環境委員会の児童は、できる時に湧き水の水質を調査したり、清掃活動を行ったりした。

水質調査

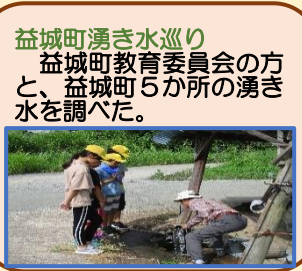
水質調査では、PH7.0と常にきれいな状態だった。

清掃活動

湧き水周辺だけでなく、道端の清掃活動も行った。

熊本大地の素晴らしさ

環境委員会の児童は、学校区だけでなく、益城町の湧き水について、益城町教育委員会の方と一緒に考え、熊本大地の素晴らしさを考えた。



湧き水に大切な石と生物

湧き水には阿蘇からの堆積物や岩石、またカニなどの生物が大切であることが分かった。

湧き水の未来を考える

環境委員会児童は、この素晴らしい湧き水について、地域の方や保護者の方からの思いを聞き、未来の湧き水の姿を考えている。





3 記 録

環境委員会のチェック、各クラスや保健室の環境に関する実態の把握により、電気代・水道代、ごみの量、4S、クラス的环境目標、早寝早起きライトダウンについてのグラフ化を行った。

電気・水の記録

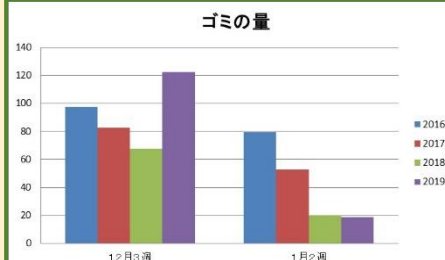
電気・水とも全体的に使用料が減ってきている。引き続き、節約の呼びかけを行っていきたい。





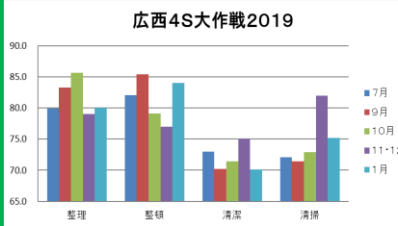
ごみの量の記録

2016年からの同時期におけるごみの量の変化を考えると、2学期末はごみの量が多く、3学期始めはごみの量が少なかったことが分かった。学期末は行事が多く、ごみも多くなりがちである。無駄のないごみの捨て方を考えていきたい。



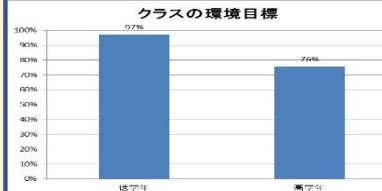
広西4S大作戦2019の記録

清潔・清掃は7割程度の伸びにとどまり、「常に心がけること」への意識が低いと考える。日ごろからの環境への意識のもち方を工夫していきたい。



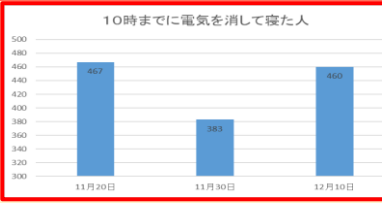
クラス的环境目標の記録

クラス的环境目標では低学年・高学年平均して8割の児童が達成したと考えている。今後も呼びかけを続けていきたい。



早寝早起きライトダウンの記録

曜日によって、多くの児童が実行したりしなかったりという現状がみえた。日ごろの生活から実行できるように声かけをしていきたい。

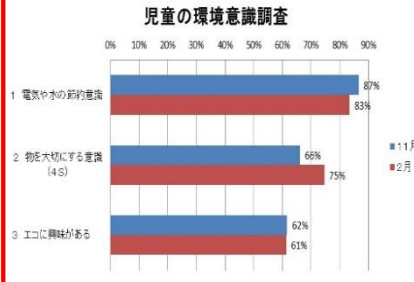


4 見 直 し

見直しから、課題を見つけ、今後の学校・家庭・地域の環境意識向上に努めている。

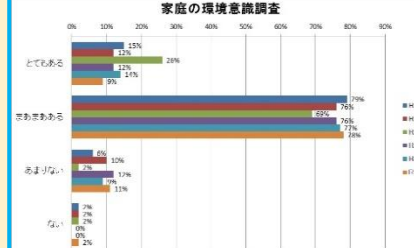
児童の環境意識調査から

環境意識調査を2回実施した。水と電気の節約については、2回とも8割を超えた。また、4Sについても1回目を上回り、全児童の半分以上が2回とも環境に興味を示している。今後もアイデアをだし、意識を高めていきたい。



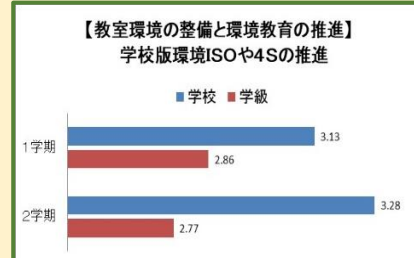
家庭の環境意識調査から

今年度は「ない」の項目が、過去6年間で、一番多い割合であった。一方「ある」の項目を合わせても9割にとどかなかった。家庭でできるアイデアをもっと考え、環境通信で紹介していきたい。



職員の教育反省から

職員の教育反省では、学級の取組については、もう少しとされている職員が多いが、学校全体の取組は大きな伸びを見せている。今後は全校へ浸透していく取組を進めていきたい。



成果と課題

学校全体の取組については、成果が見られていることが多いが、まだまだ全校児童や職員一人一人の生活まで、環境が浸透しているとは言えない。一人一人の生活環境を見つめる「4S」の取組に工夫が必要なほか、クラス的环境目標についても常に意識をもてるような取組を進めていく必要がある。しかし、今年度の学校全体の環境活動を通して、3つのハートが深まってきたと考えている。学校区は熊本地震からの復興が続いている。本校の環境活動でさらに盛り上がりを見せていきたい。